



野木小学校だより

# 野ぎくの子

校長室から 2023/2/20

2022年度 学校教育目標

「自ら問い 自ら考え 自ら行動する」

【めざす児童像】

よく考える人・自分や人を大切にする人・チャレンジする人



## 3学期前半の行事から



1月12日  
栃木県野木小学校との交流



2月1日  
上中中学校体験入学



2月4日  
学習発表会



2月16日  
新入生体験入学

## いつもよろこんで(教育講演会)

2月4日の教育講演会では、宇野繁博さん(若狭町山内出身)が来校され、児童と保護者を対象に「いつもよろこんで」と題してお話をいただきました。宇野さんは25歳頃に網膜色素変性症により視力を完全に失われ、現在は滋賀県立盲学校に教諭として勤務しておられます。

お話の中ではまず、白杖の意味や街中で目の見えない人を見かけたときの声のかけ方、誘導の仕方などを教えていただきました。

そして、いつもよろこんで生きるには、

### ○自分を大切にする

- ・自分という人間は世界でたった一人。
- ・人と比べなくてよい。

### ○人を大切にする

- ・人はつらいことや苦しいこと、悲しいことを経験することにより、相手の気持ちが分かるようになる。
- ・幸せになりたかったら自分にしてほしいことを相手にする。
- ・感謝の気持ちを大切に「ありがとう」をお互いに言い合う。

### ○つらいときや苦しいときに希望を持つ

- ・信じる気持ちを大切に。

以上の3つを実行するとよいということ、御自身の過去の体験を交えながら、心を込めて語っていただきました。お話の最後には、小学生のうちに読んでほしい本の紹介がありました。それは「野口英世」「エジソン」「小公子」「小公女」の4冊です。



リンゴの皮をむく宇野さん

### 【感想】

- ▶ リンゴのかわがきれいにむけてすごいと思いました。じぶんをたいせつにすることをまもりながらせいちょうしていきたいです。字はかけるんですか。またおしえてください。きょうはおはなしをちゃんときました。(1年)
- ▶ ぼくたち一人一人の命や友達の命、家族の命を大切にしたいと思いました。目の見えない人がいたら「何かお手伝いしましょうか」と声をかけたいです。目が見えない人も差別せずに生きていきたいと思いました。(3年)
- ▶ ぼくは人と比べていたけど、人と比べず自分らしく生きていきたいです。ホットケーキの話を聞いて、ぼくも自分がしてほしいことを相手にしていきたいです。悲しみや苦しみはいつか喜びに変わることも分かりました。(5年)
- ▶ 心にくる内容でした。子供たちにとっても伝えたい話であり大変良かったです。(保護者)
- ▶ 大きな感動をいただきました。ほかの保護者も涙している方もいて共感や新たな気づきが多かったです。(保護者)

## ~3月のおもな行事予定~

- 3月 2日(木) 6年生を送る会
- 3月 6日(月) 集金日 3年生あいさつ運動週間
- 3月14日(火) 卒業式予行
- 3月15日(水) 卒業式会場準備 1~3・6年…14:25下校 4・5年…15:30下校
- 3月16日(木) 卒業証書授与式 11:50在校生一斉下校
- 3月21日(火) 春分の日
- 3月23日(木) 給食この日まで
- 3月24日(金) 修了式 離任式(6年生も一緒に登下校) 10:30一斉下校
- 3月25日(土) ~ 春休み(4月7日まで)



## (2月の校長講話) 2月7日

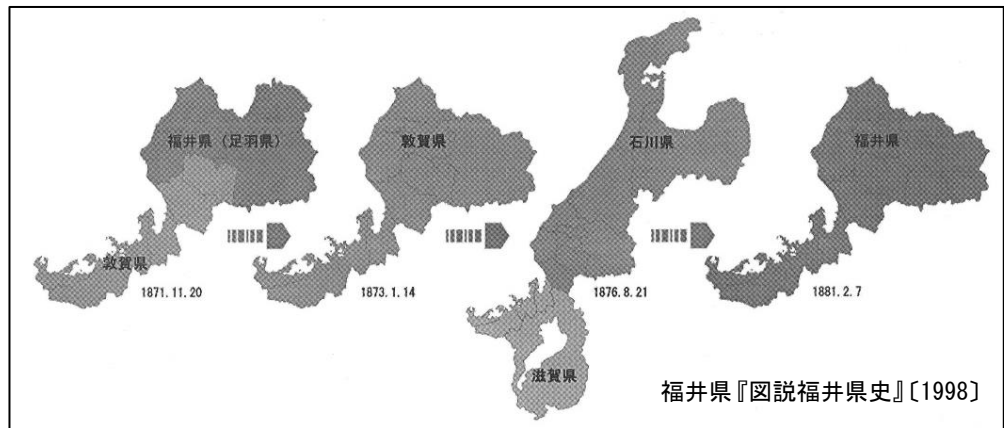
この前の土曜日の学習発表会では各学年とも、大勢の人たちの前でしっかりと発表ができました。

2月3日は節分でした。節分は文字通り季節の分かれ目で年に4回あり、2月3日の節分は冬と春の分かれ目です。2月4日は立春でした。暦の上ではもう春ということです。少し暖かくなってきて、校庭の雪もすっかりとけ、今朝はグラウンドを走ったり、昼休みには外で遊んだりする人の姿が見られましたね。もちろん、この日から急に春になるというわけではなく、「三寒四温」といって、寒くなったり温かくなったりを何回も繰り返しながら、少しずつ春が近づいてきます。

さて、今日2月7日は何かの誕生日なのですが分かりますか。実は2月7日は福井県の誕生日です。だからこの日は福井県では「ふるさとの日」とされています。今日は、私たちの住んでいるこの福井県の歴史について少し勉強してみましょう。

福井県はもともと今の福井県みただったのではなく、今から400年ほど前の江戸時代には、越前の国と若狭の国に分かれていました。野木は若狭の国の小浜藩というところにありました。明治時代になり、今から150年ほど前の1871年(明治4年)には廃藩置県といって、藩がなくなり県が置かれました。このあたりは小浜藩がそのまま小浜県となり、しばらくすると福井県(足羽県)と敦賀県になりました。その頃は日本全体で県が70以上もあったので、もう少しすっきりさせるために、1873年には足羽県と敦賀県が合体して、敦賀県ができました。これは今の福井

県とほとんど同じ形ですね。その名の通り、県の中心の役所である県庁は敦賀に置かれました。福井の方の人はこれにかなり不満を持っていたようです。「嶺北」「嶺南」という呼び方はこ



このころできたと言われています。ところが何年かすると、国が県庁などのお金を節約するために、さらに県を大きくまとめようとします。そこで3年後の1876年には、嶺北の方は石川県に、このあたりの嶺南は滋賀県にくっつけられました。この石川県は今の富山県もくっつけて、日本で一番大きな県になりました。なんと東京よりも人口が多かったそうですよ。このあたりはもともと鯖街道などで京都や大阪の方とつながりが深かったので、滋賀県の一員としてうまくやっていたようですが、石川県になった嶺北の方は、もとの石川県とあまり仲良くなく、何かと反発し合っていたようです。そこで、あまり大きすぎるのも問題が多いということで、1881年2月7日に石川県から嶺北の方が離され、滋賀県から嶺南が離されて、それを合体させて今の福井県が誕生しました。しかし、嶺南の方は先ほども言ったように、滋賀県の中で仲良くやっていたので、突然福井県になってびっくりして、その後何年も滋賀県へ戻してほしいと運動をしたそうです。

というわけで、今日2月7日は福井県の142才の誕生日です。福井県は巳年(みどし)です。

(参考資料：『福井県の成立と近世、明治期の産業』南保勝：福井県立大学教授)



福井県の花…水仙



福井県の木…松



福井県の鳥…つぐみ



福井県の魚…カニ